

シラバス参照

科目名	特別支援教育（R7認定通信）										
学修方法	テスト										
単位数	2										
専攻・コース	免許法認定通信教育（幼稚園教諭）										
履修年次	－										
科目担当者	松下 浩之 義永 睦子										
スクーリング担当者	－										
メディア授業担当者	－										
レポート添削担当者	－										
到達目標	この科目では、特別支援教育についての基本的考え方を理解し、障害のある子どもの育ちおよび学習を支援する方法についての基礎知識を習得することを目的とします。 1. 障害のある子どもに接するとき私たちが無意識にもつ考え方を意識化して捉え、障害を多面的に捉えられるようになる。 2. 障害のある子どもの保育・教育について、基礎知識を修得する。 3. 母国語や貧困の問題等により特別的教育的ニーズのある幼児、児童及び生徒の学習上又は生活上の困難や組織的な対応の必要性について理解する。 4. 乳幼児期、小学校、中学校、高等学校における特別支援教育・保育における子どもたちの育ちの様子や支援の方法、保育者・教師の在り方、他機関との連携についての理解を深める。										
授業計画	第Ⅰ部 特別な教育的ニーズの捉え方 1. 障害児保育に関する理念・定義と動向 2. 障害児保育の歴史的変遷と現代への基盤構築 3. 障害という捉え方 4. 障害児保育に関する法律・制度 第Ⅱ部 特別な教育的ニーズの理解と支援 5. 障害の特性理解と日常の配慮 6-1. 障害児の発達支援（1）肢体不自由・視覚障害・聴覚障害 6-2. 障害児の発達支援（2）言語障害・知的障害・発達障害 6-3. 障害児の発達支援（3）重症心身障害児、医療的ケア児、その他特別な配慮を必要とする子ども 第Ⅲ部 特別な教育的ニーズへの教育的支援 7-1. 障害児等の特別な配慮を要する子どもの保育の実際（1）個別の保育支援計画・指導計画 7-2. 障害児等の特別な配慮を要する子どもの保育の実際（2）発達を促す生活や遊びの環境 8. 障害児の生活理解と「困りごと」に求められる視点 第Ⅳ部 特別な教育的ニーズに関する保護者支援と家庭・関係機関との連携 9. 障害児保育からソーシャル・インクルージョンへの広がり 10. 障害児の就学支援に向けた保護者ニーズと保護者・家庭への支援 11. 障害児保育実践における家庭・関係機関との連携 12. 障害児（インクルーシブ）保育に関わる現状と課題										
成績評価の方法	<table><tr><td>a.学習方法ごとに「単位認定試験（100％）により評価する」</td><td>○</td></tr><tr><td>b.その他</td><td></td></tr><tr><td>2回のエクササイズ合格（60％以上の正解）を経て受験する単位認定試験（100％）により評価する。</td><td></td></tr><tr><td>※なお、「スクーリング・レポート」科目など、複数の学習方法を組み合わせて実施する科目については、スクーリングの試験結果（50％）とレポート・テストなどスクーリングを除く自宅学習の試験結果（50％）を合計して評価する。</td><td></td></tr></table>			a.学習方法ごとに「単位認定試験（100％）により評価する」	○	b.その他		2回のエクササイズ合格（60％以上の正解）を経て受験する単位認定試験（100％）により評価する。		※なお、「スクーリング・レポート」科目など、複数の学習方法を組み合わせて実施する科目については、スクーリングの試験結果（50％）とレポート・テストなどスクーリングを除く自宅学習の試験結果（50％）を合計して評価する。	
a.学習方法ごとに「単位認定試験（100％）により評価する」	○										
b.その他											
2回のエクササイズ合格（60％以上の正解）を経て受験する単位認定試験（100％）により評価する。											
※なお、「スクーリング・レポート」科目など、複数の学習方法を組み合わせて実施する科目については、スクーリングの試験結果（50％）とレポート・テストなどスクーリングを除く自宅学習の試験結果（50％）を合計して評価する。											
実践的教育を行う授業科目の種別	<table><tr><td>a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目</td><td>○</td></tr><tr><td>担当教員の実務経験（経歴・資格等）</td><td>松下浩之 略歴 特別支援学校特別非常勤講師（外部専門家心理士）、保健センターの心理相談員、幼稚園・保育所等巡回相談員、療育施設指導員、幼稚園・保育所等職員研修・事例検討会講師等の経験</td></tr></table>			a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	○	担当教員の実務経験（経歴・資格等）	松下浩之 略歴 特別支援学校特別非常勤講師（外部専門家心理士）、保健センターの心理相談員、幼稚園・保育所等巡回相談員、療育施設指導員、幼稚園・保育所等職員研修・事例検討会講師等の経験				
a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	○										
担当教員の実務経験（経歴・資格等）	松下浩之 略歴 特別支援学校特別非常勤講師（外部専門家心理士）、保健センターの心理相談員、幼稚園・保育所等巡回相談員、療育施設指導員、幼稚園・保育所等職員研修・事例検討会講師等の経験										

	小・中・高・特別支援学校教員免許、公認心理師、臨床発達心理士スーパーバイザー資格 義永睦子 略歴 特別支援学校勤務経験、家庭児童相談室・保育園巡回心理相談・保健センター乳幼児相談の心理相談員経験、幼稚園教諭現職研究会講師、保育園障害児保育現職研究会講師経験。 幼稚園教諭一種免許状、小学校教諭一種免許状、保育士資格、臨床心理士資格。
授業内容との関連性	子どもの心身及び発達特徴、集団生活、家庭生活全般のアセスメント、及び、それらを基盤とした子どもの理解と特別支援教育の展開、学校内外における連携に関する実務経験
b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
学外講師の経歴・資格等	
授業内容	
c: 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
実習先・実習の目的	